

JMIU 東京測器研究所支部 を民主化しよう!!!

○東京測器研究所支部を民主的な労働組合(JMIU)に

東京測器研究所支部は、橋本執行委員長と高田書記長が支配するJMIUの支部です。支部は、強力な闘いを指向する運動を行っています。「力で捻じ伏せるやり方」は、ただ会社を怒らせるだけで、対立は深まり、不毛な結果を生むだけです。高田書記長は、「日本共産党」の信奉者であり、バリバリの「共産党員」です。支部と高田書記長に批判的な勢力には、一切容赦ない姿勢を示す独裁者です。団体交渉においては、会社側を怒鳴りつけるばかりで、対等な関係を築くことが、相手に対して尊敬心を持つという姿勢のかけらもありません。こんな人達に労働組合をまかせてはなりません。

○私たちが目指す労働組合・運動

団結の基本は、信頼関係です。この基本を大切にすることで組織は拡大し、会社との信頼関係は深まるのです。ですから会社との信頼関係の損失は、組合員・従業員にとって最大の損失です。支部は、組合員・従業員及び会社との信頼関係を既に損失しています。

健全な労使関係は、労使双方が相手を尊重し、信頼を基調として初めて育まれるものです。そして企業の発展と健全化、労働者の地位向上と雇用の安定をはかるのです。労使間のトラブルを発生させないためには、攻めるだけではなく、健全な労使関係を目指す姿勢が必要なのです。

支部の指向する運動は、「力で捻じ伏せる」という攻めだけです。攻めの姿勢だけでは、労使間の不信を生むだけです。会社に対して、不信、恨み、辛み、怒りである支部の運動は、既に組合員・従業員の支持を失っています。

○働く仲間の皆さん、真に民主的な労働組合を再建しましょう！

私たちは対立関係を克服し、健全な労使関係を構築します。支部の力を背景とした闘いは、企業風土とは合入れないのです。そのため、橋本委員長、高田書記長を退陣させ、民主的な労働組合を作っていかなければなりません。

東京測器研究所に民主的な労働組合をつくる会